

保護者の皆さまへ

# 寝屋川支援校長室だより

令和4年7月20日 No.7  
大阪府立寝屋川支援学校  
校長 阪本 友輝  
准校長 藤田 太郎

前号では、梅雨明けの記載をしておりましたが、曇りや雨が多くすっきりしない天气が続き、蒸し暑さが続いています。また、新型コロナウイルス感染者数につきましては、増加傾向となっており、7月11日に大阪モデル「黄色」となりました。7月13日には2月26日以来となる1万人を超える規模となっています。校内では、熱中症対策を優先した感染症対策を行い、教育活動を継続することができました。ご協力ありがとうございました。2学期からどのような状況になっているかわかりませんが、大阪府からの通知やお知らせを確認し、教育活動をすすめて参りますので2学期もよろしくお祈りします。暑い日々が続いておりますので、熱中症には十分にお気をつけいただくと共に新型コロナウイルス感染症対策もしつつ夏休みをお過ごしください。

なお、夏休み中の新型コロナウイルス感染症の連絡につきましては、学校行事や実習等に参加予定の場合のみ連絡をお願いします。参加予定がないようでしたら 8月29日より連絡をお願いします。

## ●1学期を振り返って

1学期に予定していた校外学習・宿泊・修学旅行等は全て予定通り実施することができました。準備等のご協力ありがとうございました。(※小学部5年生は7月下旬予定)校内では通常授業も円滑に行われ、それぞれの課題に取り組みました。校内の衛生面には、高等部の2・3年生が校内実習で大きく貢献しました。

高等部 3年生 修学旅行(ダンス) 2年 校内実習(窓の清掃)



中学部 授業風景(国語)(チャレンジクラブ)



小学部 PECSの取組(絵カードを選択し、児童が意思表示をしています)



●1学期間ありがとうございました（事務室の様子）

事務室の様子を紹介します。事務職員の方々は、2階事務室にて学校全体に関わる行政の仕事をしています。また、保護者の皆様と顔を合わす機会は少ないですが、授業時間内に保護者・学院の先生方より下4桁（1024）にお電話をいただいた際、応答しています。本校では縁の下の力持ちとして学校を支えています。2学期もよろしくお願いいたします。



●全国特別支援学校長研究大会からの情報提供

少し前の話となりますが、6月中旬に「全国特別支援学校長研究大会」がオンラインで開催されました。その研究大会の中で印象的なスライドがありましたので、保護者の皆様にもご紹介します。

「キャリア教育」についての講演の中で、「キャリア教育とは（中略）キャリア発達を促す教育である」との内容に関して、この1枚にとっても大切なことが示されていると感じました。

本校でも、すべての学部で「人の役に立った、人に喜んでもらった」等の「認められて（自信を持って）育つ」という発想を持ち、「自己有用感」を育てる指導支援を進めてまいります。

生活単元学習  
家庭での役割  
国語

※「役割を果たす」「できる」だけでなく、取組に対する自分なりの「意味付け」という、物事への向き合い方の変化は、他者との関係性や他者からの「価値付け」の影響が大きいことを示唆→「深い学び」や「カリマネ」のPoint

他者からの価値付け

相手に喜んでもらいたい、役に立ちたいという思い

私の大切な時間です。

私には毎日米とぎの手伝いをします。

私、こころをこめて

自分なりの活動への意味付け

キャリア発達とは、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」である。キャリア発達を促す教育が「キャリア教育」である。（中教審,2011）